

社會主義とは一口に云へば、社會の幸福進歩を主とした社會組織を作るべき理屈を主張するものだ。日本にとつて云へば、日本社會といふ七千萬人の相互扶助の社會、即ち大日本國の利益を目的とする日本の新しい組織を主張するものだ。日本で社會といへば、この七千萬國民の寄り合つて組織して居る社會以外、別に社會といふものはない。即ち日本社會が日本國家なのだ。西洋あたりでは、世界の宿無し犬と云はれて居る猶太人の様な、他の各國の國家内に寄寓して別に猶太人としての社會を有つて居る。それでその猶太人から出た學者共は、社會主義とは國家の無い社會を組織するものだとか

へるのは、畑によつて芋の出来が少々異つてると見れば宜しい。それを通辨共が猶太人をつくりもつて來やがつて、しゃべつたり印刷したりする。見んごと金持共やその手下の三太夫役人共は、得たりかしこしと、ヤレ非國家主義だ、國賊だ危険思想だなんて騒ぎ廻る。第一俺等労働者がそんなことにや承知出來ねーんだ。社會がなければ生きて行けぬやうに、國家がなくては七千萬人は、他の社會的團體から亡ぼされてしまふ。クロボトキンの云ふ相互扶助といふこと、そのこと己に一切の生物は他の生物社會との生存競争の必要から、お互に扶け合はねば生存して行けぬといふこと。即ち社會と社